

A. 主な動き

1. 内政

▼連立与党の動き

・10日、フィラト自由民主党党首はストルザ元首相と会談。数日前、ストルザ元首相の大統領候補擁立について尋ねられた際、フィラト党首は、ストルザ元首相は全ての必要な要件を満たしている旨発言。またストルザ元首相も明確な回答を避けていた。

・12日、ツルカン議員は、共産党と「欧州統合のための同盟」の対話に関し、同盟側からの提案を待っている旨発言。

・12日、与党連合各党の代表は、省庁及び議会内委員会数を削減する方針を発表。キルタク自由党副党首は、現在の閣僚は全員すげ替えられるとの見解を表明。

・13日、政府の主要ポストの配分が合意された旨報道。報道によると、ルプ民主党党首が大統領、フィラト自由民主党党首が国会議長、ウレキャン「我々のモルドバ」同盟代表が首相、ギンプ自由党党首が国会副議長に就任する見込み。

▼憲法裁判所の動き

・14日、自由党及び「我々のモルドバ」同盟は、7月の選挙結果の認可を決める会合にプルベレ憲法裁判所長官を参加させないよう要請。

・14日、憲法裁判所は7月29日の期限前議会選挙結果を承認。またキリスト教民主人民党による再集計要請を却下。

▼その他

・12日、ペトレンコ共産党議員は、ルーマニアとの対話を再開するため、政治基本条約と国境条約に署名すべき旨発言。

・14日、キルタク市長は、新たな国会議長が選出された場合、ヴォローニン大統領代行は大統領職を失うとの考えを明らかに。

・14日、ストルザ元首相は、ROMPETROL副総裁を辞任。

2. 沿ドニエストル

・11日、沿ドニエストルにおける有力企業の1つElectromash (エネルギー関連電機部品製造業) は資金難から操業を停止。

3. 経済

・10日、ゴロヴァティウク(Golovatiuc)国家統計局長官は「1-3月期と4-6月期の取引高、工業生産高を比較すると、大幅な改善が見られる」と発言。

・モルドバ中央銀行の7月の外貨保有高は2.3%減の11億8200万米ドル。これは年初来から29.3%の減少。

・国家統計局の発表によると、2009年前半の農産物価格は46%下落。中でも下落が激しいのは小麦(66.4%)、トウモロコシ(62%)、ヒマワリ(57.2%)など。

・13日、ドドン第一副首相兼経済貿易相は外国からの資金調達の条件が悪いことから国内の銀行からの融資を検討している旨発言。

・14日、グセフ・モルドバガス執行部代表は、2009年のロシアからのガス供給価格は1000立法メートルあたり280ドルになる旨発言。また2008年10月から2009年6月にかけて、消費者の未払い額は3.5億レイ(約3130万ドル)にのぼり、モルドバガスはガスプロムへの支払いを7月21日時点で6800万ドル滞納と説明。

4. 外政

▼欧州との関係

・8日、自由民主党、自由党、民主党及び我々のモルドバ同盟の4党首は、政権を握り次第ルーマニアへの査証制度を廃止する意志があると発言。

・我々のモルドバ同盟のウレキャン代表は、共産党は4月7日の暴動事件にルーマニアが関連していたとの誤った判断についてルーマニアに謝罪すべきであると発言。

B. その他の動き

8/14 (金)

・スウェーデンが460万ユーロを2010年の農地調査のために

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

供与すると発表。これは調査費用の80%をカバーし、新政府の政策・長期開発計画立案に貢献。

(了)